

## 「気になる行動」分析ツール

★センターサーバーの public に「気になる行動.pps」と「Kininaru.exe」の二つのファイルがあります。適当なフォルダにコピーして、「気になる行動.pps」を起動してください

自傷、他傷、破壊、パニック、こだわり、異食、逃亡など、大人の都合で見れば「問題」な行動かもしれない。これらの行動は、言葉の有無にかかわらず、「自分をわかってほしい」、「助けてほしい」、「〇〇したいんだ」という子どもたちからの精一杯の発信である。大人にとっての「問題行動」なのではなくて、子どもたちが「困っている」と訴えている行動なのである。そこで本校では、これらの行動を、「気になる行動」と呼ぶことにしている。

分析ツールでは、「気になる行動」が、「子供たちからのどんな発信なのか？」について、簡単な質問に答えていき、類推していくことから始まる。

### 注目の獲得

誰かに認めてほしい、関わってほしいという思いから、その行動を続けている可能性があります。



さらに、「気になる行動」について、状況を次の4つに整理して分析する。

「背景要因」…日課やその日の体調等、気になる行動の背景と想定される状況。

「先行事象」…気になる行動が起きた時、あるいは起きる直前の周囲の状況。

「気になる行動」…どんな行動を起こし

たのか 見える・聞こえる・数えられる行動

「結果事象」…行動が起きた後で、周囲がどのように変わったか（対応したか）、結果的にどのような状況になったか。

### さあ、始めましょう！

- A:「とにかく怖い」、「がまんできない」など特定の刺激に対する反射的な行動ですか？  
B:「結果的に何らかのことを手に入れた」、「何らかのことから逃れられた」などの経験により継続していると思いますか？

A

B

### オペラント行動

—行動の結果によって、行動の出現回数が増減するような行動—

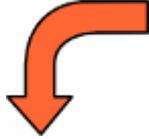
#### 【指導方法】

「背景要因-先行事象-行動-結果事象」の関係で状況を整理し、「望ましい行動」に切り換えます。

背景要因 ⇄ 先行事象 ⇄ 行動 ⇄ 結果事象



これらの項目について、画面上で詳しい説明やサンプルを見ながら、一つ一つの質問に答える形で状況を入力していく。すると、それらが下図のように整理して表示される。



## 状況の整理をしましょう

背景要因は、日課やその日の体調等、気になる行動の背景と想定される状況のことです。

🔦 **背景要因** → **先行事象** → **行動** → **結果事象**

「寝不足気味である」、「薬の副作用で落ち着かない」など、直接的ではないがその行動に関係のありそうなことを下のボックスに書いてください。(特になければ空欄)  
 (例)「コミュニケーション手段が少ない」、「行きたいところがたくさんある」、「耳が聞こえにくい」、「最近、妹が生まれ母親の関わりが減った」など。

【背景要因のヒント】  
 ①服薬・行動に影響を与えている医療上の問題や身体の状態  
 ②睡眠のパターン・食事の日課と食事内容について・典型的な一日のスケジュール  
 ③一日のスケジュールのある活動は、本人にとってどの程度予測可能か  
 ④日中に、本人が自分の活動を選択する機会がどれくらいあるか  
 ⑤本人は、人が多かったり、より騒がしい状況を避けるか

Sample



## 適切な行動に変えましょう

「人形や上靴を窓から落とす」ケース

背景要因	先行事象	行動	結果事象
妹が3ヶ月前に生まれ、家での母親の関わりが減った	教室など窓のある部屋ですることがなく退屈している時	人形や上靴を窓から落とす	先生に注意を受けることで関わってもらえる

💡 さあ、考えてみましょう! 💡

【考え方のヒント】  
 ①気になる行動を続けさせている結果と同じ意味を持つ望ましい行動に切り換える (代替行動強化)  
 ②望ましい行動を行った時に強化をする (他行動分化強化)  
 ③気になる行動とは同時にできない望ましい行動を用意強化する (対立行動分化強化)  
 ④一定の時間内に気になる行動の数が、あらかじめ決められた限度より少ない時に強化する (低頻度行動強化)  
 ---できるだけ、上記の考え方で適切な行動に変えましょう--- さらには、  
 ⑤問題行動を強化しているものを取り去る (消去)  
 ⑥一定期間、強化を与えない (タイムアウト法)

## 適切な行動に変えましょう

「人形や上靴を窓から落とす」ケース

背景要因	先行事象	行動	結果事象
妹が3ヶ月前に生まれ、家での母親の関わりが減った	教室など窓のある部屋ですることがなく退屈している時	人形や上靴を窓から落とす	先生に注意を受けることで関わってもらえる
	おもちゃや描画材料を教室に置いておく	適切な遊びや感覚(視覚)的に楽しめる遊びをする	先生も一緒に遊んでくれ、関わってもらえる

💡 さあ、考えてみましょう! 💡



そこで、「背景要因」「先行事象」「行動」「結果事象」を変更し、適切な行動に切り換えていく。

※入力したデータは、保存をしておいて、いつでも確認・修正ができる。

※プリンターに印刷することもできる。(流れ図ではわかりにくい人のために、最下段に文章化した内容も印刷される)

気になる行動への対応

## 適切な行動に変えましょう

「人形や上靴を窓から落とす」ケース

背景要因	先行事象	行動	結果事象
妹が3ヶ月前に生まれ、家での母親の関わりが減った	教室など窓のある部屋ですることがなく退屈している時	人形や上靴を窓から落とす	先生に注意を受けることで関わってもらえる
	おもちゃや描画材料を教室に置いておく	適切な遊びや感覚(視覚)的に楽しめる遊びをする	先生も一緒に遊んでくれ、関わってもらえる

💡 さあ、考えてみましょう! 💡

「妹が3ヶ月前に生まれ、家での母親の関わりが減った」という背景があり、「教室など窓のある部屋ですることがなく退屈している時」に、「人形や上靴を窓から落とす」という行動をすることで、「先生に注意を受けることで関わってもらえる」ので、この行動を続けていると思われる。そこで、「おもちゃや描画材料を教室に置いておく」とすることで、「適切な遊びや感覚(視覚)的に楽しめる遊びをする」ように促し、「先生も一緒に遊んでくれ、関わってもらえる」というように適切な行動に変える。

スタート